

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 筑波大学附属駒場高等学校・多尾奈央子

2. 講師氏名: Mary Antonette Beroya-Eitner 博士

3. 同行者氏名: 同行なし

4. 実施日時: 平成 27年 10月 17日 (土) 10:30 ~ 12:30

5. 参加生徒: 中学3年生 15人
備考: 総合学習選択講座でサイエンスダイアログ講座を選択した生徒

6. 講演題目: Sustainable Environment, the Philippines

7. 講演概要:

- ✓ Self-Introduction
- ✓ The Philippines
- ✓ State of the Environment
- ✓ Present Research

8. 使用言語: 英語

9. 講演形式:

- (1) 講演時間 100 分 質疑応答時間 20 分
- (2) 講演方法: プロジェクター使用による講演
- (3) 通訳: なし
- (4) 事前学習時使用教材: 講師からの Presentation pdf file / pdf からの Glossary (教員作成)

10. 学校からの支給経費: 謝金

11. その他特筆すべき事項:

事前資料の提出は講義の3日前(依頼した日より遅)。教員側で当日使用するスライドの内容や語を確認し、受講生の英語レベルを考えると難しすぎるものが多いことと、提示するスライドが60枚程度と多いことから、少々の調整を依頼。その後も数回に分かって進行方法などを細かく確認した。とにかく、ゆっくり、専門的な語や内容が噛み砕いて(paraphrase)して、逐一生徒の理解を確認しながら話を進めていただくように強く依頼。

当日お越しいただいたときに再度同じ内容を確認した。実際の講義は上記の点をとても意識されたものの、多少は早口。が、逐一 simple な語に言い換えてくださったり、前述の内容を確認するために生徒に質問を投げかけたり、これまでで最もinteractionのある講義であった。何とかご自身の研究内容を一般の人間に分かりやすく伝えたいという熱意が伝わる講義であった。次世代、次々世代の生活環境が豊かになるための研究に携わっていること、研究内容であること(すべての研究がそうなのだが)を伝える意思のある方に今後も来ていただきたい

